

総合戦略の構成素案

基本目標	基本的方向	基本施策体系	取り組む施策
子育てするなら 富士見市で！	結婚・出産の希望をかなえるまち	結婚の支援 ～出会いの場を創出します～	独身男女の約9割は結婚意思を持っている一方、未婚率は上昇し希望がかなっていない現状にあります。本市においても、平成12年と平成22年を比較すると、男女ともに未婚率は上昇しており、晩婚化が進んでいる状況にあることから、市民アンケートにおいて、72.1%の方が結婚に関して行政支援の必要性を感じているとの回答を踏まえ、イベント開催などの結婚支援施策に取り組みます。
		出産の支援 ～産前産後のサポートを充実します～	多くの若者が希望する子どもの数は、平均2人以上となっているものの、晩婚化が進むとともに生涯未婚率の上昇とあいまって希望がかなっていない現状にあります。希望する子どもの人数をかなえるための支援として、不妊治療に対する支援の検討など、きめ細やかな産前産後における支援の充実を図ります。
	子育ての希望をかなえるまち	保育支援の充実 ～子どもにやさしい保育に努めます～	保育需要に応じて、希望する保育所に入所できるよう保育所の整備を進めていきます。また、一時保育や病児・病後児保育などの保育環境の充実に努めるほか、第3子目以降の保育料の無料化を継続するなど、多子世帯への経済的な支援などにも取り組みを進めます。
		児童健全育成の推進 ～子どもの安全な居場所をつくります～	放課後児童クラブについては、今後の児童数を的確に捉え、待機児童が生じないよう整備を進めるとともに、安心して預けられる環境の向上に努めます。児童館については、関沢児童館・諏訪児童館の環境改善に努めるほか、平成27年度に開設したふじみ野児童館においても、中高生の居場所づくりに努めます。
		健康づくりの推進 ～みんなの歯っぴーライフを推進します～	「食」を通じた健康づくりの発信拠点である食育推進室において、赤ちゃんの食事作り教室や親子クッキングの開催などにより、食による健康づくり・コミュニティづくりを推進します。子どもの3歳児健診時に、歯の質を硬く強くするなどの効果がある乳歯へのフッ化物の塗布を実施するほか、妊産婦の歯科健診に対する助成などにより、歯科口腔の健康増進に努めます。
		学校・家庭・地域の連携により子どもの学び力や生きる力を育む ～知的好奇心を刺激する学びの場をつくります～	学校・家庭・地域の教育力を向上させていくためには、人と人とのつながりをつくり、絆を深めていく地域づくりが求められています。市では子ども大学☆ふじみをはじめ、子どもスポーツ大学☆ふじみ、子ども文化芸術大学☆ふじみなどを実施し、多様な学習機会を提供していくとともに、地域コミュニティの醸成を図ります。 グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は日本の将来にとって極めて重要であるとされています。そこで、市内の子どもたちが楽しく英語に触れあえる機会の創出として、AET(アシスタントイングリッシュティーチャー)などを活用した特色ある英語教育に取り組みます。また、ICTを活用した教育の取組みを強化するとともに、すべての教育の出発点である家庭教育について、公民館をはじめとしたサロンの開催や教育講演会などによる事業の充実を図ります。

総合戦略の構成素案

基本目標	基本的方向	基本施策体系	取り組む施策
やさしい暮らしを富士見市で！	水と緑豊かな自然とともにくらすまち	自然の保全と活用 ～市民の憩いの場を創ります～	市内には湧水が多く存在し、江川プロムナードなど水と親しめる親水公園は市民の憩いの場となっています。広さ約57,000㎡の「びん沼自然公園」は、川沿いの湿地帯をビオトープとして整備し、見晴らしデッキや芝生広場などがあり、野鳥や昆虫などの自然観察や、野外レクリエーションの場として市民に利用されています。今後は自然を守りながら、さらに魅力を高めていく整備を進めるとともに、地域の活性化に取り組みます。 また、斜面林などの限りある緑地は、基金の活用などにより、計画的に市が取得し、保全していきます。
		公園・広場の整備促進 ～特色を活かした公園を創ります～	市内の都市公園等には、多様なスポーツのできる運動公園や歴史文化を学べる水子貝塚公園、難波田城公園をはじめ、菖蒲で有名な山崎公園など、それぞれに特色ある公園が47か所存在しています。 今後も引き続き人が集う魅力的な公園となるよう改修していくとともに、計画的に公園や広場の整備を市民協働で取り組んでいきます。
	誰もが安全で安心してくらすまち	住環境の向上 ～安心と快適性の高いまちを創ります～	防犯灯のLED化の推進や公共施設等の防犯カメラの設置を検討するなどのほか、地域住民との連携による防犯対策の取り組みなどを進め、地域防犯力の向上を目指します。 また、良質で快適な住宅への支援として、銀行等との連携による住宅取得時の優遇制度の検討のほか、住宅リフォームや太陽光発電システムの設置など、住宅に関連する助成金の交付を継続します。
		災害対策の推進 ～安全な生活を守ります～	公共施設の保全を図るなど防災機能の向上に努めるとともに、地域防災組織への支援など地域防災体制の充実に努めます。 また、現在社会問題化している空き家については、平成25年度の調査によると、空き家(その他の住宅)の実数は1,900戸、空き家率は3.7%となっており、生活環境の保全や安全を確保するため、空き家の利活用を検討するとともに、特定空き家等に対する必要な措置について検討を進めます。
		良好な道路環境の創造 ～安全性の高い交通環境を実現します～	自動車や自転車、歩行者等の多様な交通需要に対応するため、狭小な歩道や段差の解消など安全安心に通行できる道路整備や踏切改善を計画的に進めるほか、都市計画道路の整備などに努めます。 また、地域公共交通においては、東西交通の活性化を推進するため、循環バス路線や公共バス路線の利便性の向上に努めるほか、東武東上線の駅ホームの改善や連続立体化に向けた取り組みを進めます。
		多世代近居・同居の促進 ～介護や子育てに安心な環境を創ります～	本市への転入者の動向では、30代の転入が37.7%と最も多く、転入前から転入後で持ち家となる世帯が11.7%増加しています。また、市民アンケートでは、本市に転入した理由として、仕事上の都合、住宅の都合といった回答について、3番目に18.6%の方が、親族との近居・同居のためと回答しています。 この結果を踏まえ、若者のUターン転入等を促す施策の取り組みとして、住宅の取得に対する支援を行い、親族との近居・同居により、子育て世帯等が安心して生活できる環境による定住化を促進していきます。
	健康長寿で生きがいを持ってくらすまち	健康づくりの推進（再掲） ～住みなれた地域で自分らしい暮らしを確保します～	市民の健康づくりを推進するため、健康増進計画を策定し、介護予防やがん検診・各種予防接種の充実に取り組みます。 また、高齢者の方が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていける「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、取り組みを進めるほか、地域医療体制の充実に努めていきます。
		生きがいづくりの支援 ～生きいきと輝くくらしを提供します～	超高齢社会の進展に伴い、第2の人生として趣味や仲間同士のコミュニケーションが非常に大切となっています。市では生きがいづくりの各種事業の取り組みのほか、社会貢献活動の場の提供に努めます。 子どもから高齢者までを対象とした生涯にわたる多様な学習ニーズに対応するため、図書館施設の改修や図書館サービスの充実をはじめ、生涯スポーツ・レクリエーション活動を推進していきます。
	魅力を活かし、くらすまち	魅力ある観光資源を磨く ～地域資源を活かした取り組みを推進します～	市には水子貝塚公園や難波田城公園といった固有の歴史的・文化的資源や、桜やコスモス、菖蒲といった花を観賞できるスポットなどが多くあります。今後も引き続き観光資源の充実を図るとともに、サイクリング道路とのネットワークにより市内を回遊できる整備を進めます。
		情報発信の充実 ～知ってほしい富士見の魅力を発信します～	富士見市の魅力をもっと知ってもらえるよう市マスコットキャラクター「ふわっぴー」や「富士見市PR大使」による各種イベント等でのPR活動のほか、スマートフォン用アプリによるご当地情報の発信、市のプロモーションDVDの作成などに取り組み、市の魅力的な情報を発信し続けます。

総合戦略の構成素案

基本目標	基本的方向	基本施策体系	取り組む施策
しごとを創出する富士見市へ！	働く場を創出するまち	起業家の支援 ～商店街の活性化に努めます～	市民アンケートでは、商店街で実施したほうがよいと思われる取組みの質問に対し、空き店舗の活用が29.6%と最も高い回答でした。この結果を踏まえ、商店街の空き店舗を活用し、地域の活性化に向け取り組む起業家に対して、出店に係る店舗改装費や店舗賃借料の一部を補助し、商店街がにぎわう環境を作り出していきます。また、新たに事業を始めた事業者やこれから創業を考えている事業者を対象に、ふじみ創業者支援セミナーを開催するほか、チャレンジショップの開設など、次代を担う若者や女性が挑戦しやすい商業環境の整備に取り組めます。
		目的に応じた就労支援 ～就労意欲の向上を推進します～	厳しい雇用情勢にある中、就労の目的に応じた様々な講習会の開催やハローワークとの連携などにより、就労支援に取り組めます。トレンドを踏まえ、若者向けや中高年向けなど、年齢層に応じた講習会の開催をはじめ、女性向けやスキルアップを目的とする講習会などを開催し、受講者の就労意欲の向上に取り組めます。また、保育士不足の解消に向けて、保育士資格を有しながら保育士として勤務していない潜在保育士を掘り起すための取組を進めます。
		資格取得の支援 ～仕事に活かせる資格取得を応援します～	本市には特別養護老人ホームをはじめ、46施設の介護関連事業所があり、今後の高齢者人口の増加に伴う介護職員の育成及び確保が大きな課題となっています。そこで、介護職員初任者研修を実施し、資格取得者を増やすとともに、市内介護関連事業所への就労を促し、人材の確保に努めます。また、ひとり親家庭の親の学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、正規雇用を中心とした就業につなげていくため、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す場合において、民間事業者などが実施する対策講座の受講費用の軽減を図ります。
	魅力と活力ある農業を創出するまち	農業者の支援 ～農業イノベーションを推進します～	市面積のうち約4割が農地である本市の農業は、生産地と消費地が隣接する立地条件に恵まれた首都近郊農業ですが、農業従事者の高齢化と後継者不足による耕作放棄地の増加など、本市の農業は深刻な問題を抱えている状況にあります。市では農業が魅力ある産業として確立していけるよう地域農業者の支援や、担い手の育成などの施策に引き続き取り組むとともに、優良農地の確保や農地の有効活用に努めます。また、地域や多様な産業との連携による6次産業化への検討を進めていきます。
		地産地消の推進 ～食と農のビジネスを推進します～	「食」と「農」の認識を深めるとともに「消費者」と「生産者」の良好な関係を構築するため、市の農産物を提供する機会を創出するなど、地産地消をさらに推進していきます。また、市民意識調査において、市の魅力ある資源として「ご当地グルメや昔から伝わる食」と回答した方は、選択肢中最低の0.7%であったことから、「食」によるオリジナルのふるさと名物・富士見ブランドを創出し、市の知名度を高める取組を進めます。
	新たな価値を創出するまち	魅力的な土地利用の推進 ～にぎわいと雇用を創出します～	本市のほぼ中央に位置するシティゾーンは、市のシンボルとなりうる場として、人や企業を集積させることができる魅力あるまちを目指し、商業施設の誘致などに取組を進めてきました。今後は、鶴瀬駅からシティゾーンまでのアクセス道路である鶴瀬駅東通線の活性化に取り組むとともに、産業系や教育機関などの土地利用を推進し、さらなる賑わいと雇用の創出に努めていきます。また、東武東上線や国道254号線、所沢インターチェンジ等に近く、交通の利便性が高い「水谷柳瀬川地区」については、特性を活かした産業系の土地利用について引き続き検討を進めます。